



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年10月30日

上場会社名 かどや製油株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2612 URL http://www.kadoya.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小澤 二郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理部長 (氏名) 戸倉 章博 TEL 03-3492-5545
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の業績 (平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	13,592	16.7	718	22.9	1,170	74.2	741	82.6
27年3月期第2四半期	11,641	3.5	584	△48.0	671	△47.9	405	△47.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	78.86	—
27年3月期第2四半期	43.17	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	25,560	20,977	82.1	2,231.71
27年3月期	26,777	20,846	77.9	2,217.75

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 20,977百万円 27年3月期 20,846百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
28年3月期	—	0.00			
28年3月期 (予想)			—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成28年3月期の業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,500	6.0	1,200	47.9	1,750	7.9	1,100	15.0	117.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	9,400,000株	27年3月期	9,400,000株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	224株	27年3月期	179株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	9,399,807株	27年3月期2Q	9,399,821株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

尚、上記予想に関する事項は添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、円安や原油安の影響により企業収益は改善し、緩やかではあります。しかし、中国経済の減速懸念等、世界経済の不透明感により株価は下落しており、今後の動向は先行きの見えない状況となっております。

食品業界におきましては、輸入仕入価格の上昇や円安等の影響により、企業を取り巻く環境は、引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況下、当社は原料高騰により適正価格での販売を行うべく、数年来、製品値上げの実施を行ってきましたが、値上実施後の価格浸透に重きを置いたこと、消費税の増税による反動減もあり前年上期の販売は厳しい状況でありました。しかしながら、同業他社が当社と同様に製品の値上げを実施したことで当社との価格差が縮まり、特に家庭用ごま油を中心に特売が増え、今期のごま油の販売数量は前年同期比8.8%増、食品ごまは前年同期比1.7%減となりました。また売上高は、数量・価格とも前年を上回り前年同期比16.7%増となりました。

コスト面では、委託加工費や燃料費の減少等があったものの、販売数量増加による処理量が増えたこと、前期に仕入れた高い原料価格の影響により原料の払出価格が前年同期比で上回ったこと等から、売上原価は前年同期比14.1%増となりました。

一方、販売費及び一般管理費は、家庭用ごま油等の拡販により拡売条件費等の販売経費が増加し前年同期比23.5%増となりました。

この結果、売上高は13,592百万円(前年同期比1,951百万円増)、経常利益は1,170百万円(前年同期比498百万円増)、四半期純利益は741百万円(前年同期比335百万円増)となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

①ごま油事業

ごま油事業におきましては、同業他社の値上げが進んだことで当社製品との価格差が縮まったこと、利益率が高い家庭用ごま油を中心に拡販を努めた結果、ごま油の販売数量は前年を上回りました。また、売上高につきましても販売数量の伸長及び販売単価の上昇により前年を上回る結果となりました。

原料購入価格は前期より低下しつつありますが、依然として前期に仕入れた高い原料価格の仕掛品や製品の在庫への影響もあり原価は前期を上回る状況であります。

こうした環境下において、今後同業他社による巻き返し等、競争激化が予想されますが、販売数量確保の為、引き続き積極的な販促活動を図って参ります。

以上の結果、売上高は11,196百万円(前年同期比1,822百万円増)、セグメント利益は613百万円(前年同期比221百万円増)となりました。

②食品ごま事業

食品ごま事業におきましては、同業他社との競合やコンビニ惣菜向けの業務用ねりごまの落ち込み等により販売数量は前年を下回りましたが、製品値上げにより売上高は前年を上回りました。また、売上原価はごま油同様、前年を上回る状況であります。

こうした環境下において、当社は、現在新規設備導入を行い新製品や既存製品のリニューアルの開発を進めております。

以上の結果、売上高は2,389百万円(前年同期比123百万円増)、セグメント利益は102百万円(前年同期比89百万円減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末の資産につきましては、前期末に比べ1,216百万円減少しました。これはたな卸資産が1,406百万円増加するなどの増加要因があったものの、現金及び預金が2,307百万円および流動資産のその他が349百万円減少したこと等によるものであります。

負債につきましては、前期末に比べ1,348百万円減少しました。これは買掛金が1,411百万円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前期末に比べ131百万円増加しました。これは繰延ヘッジ損益が162百万円およびその他有価証券評価差額金が71百万円減少したものの、四半期純利益741百万円計上及び配当金の支払い375百万円により利益剰余金が365百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月14日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,218	3,910
売掛金	5,614	5,756
商品及び製品	1,162	1,234
仕掛品	1,154	1,080
原材料及び貯蔵品	5,308	6,717
その他	833	483
流動資産合計	20,291	19,182
固定資産		
有形固定資産	4,403	4,385
無形固定資産	20	18
投資その他の資産	2,062	1,972
固定資産合計	6,485	6,377
資産合計	26,777	25,560
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,297	1,886
未払法人税等	403	434
賞与引当金	178	183
役員賞与引当金	45	26
その他	1,147	1,187
流動負債合計	5,072	3,718
固定負債		
退職給付引当金	754	774
資産除去債務	74	70
長期未払金	28	19
固定負債合計	857	864
負債合計	5,930	4,582
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,160	2,160
資本剰余金	3,082	3,082
利益剰余金	14,778	15,143
自己株式	△0	△0
株主資本合計	20,020	20,385
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	555	484
繰延ヘッジ損益	269	107
評価・換算差額等合計	825	591
純資産合計	20,846	20,977
負債純資産合計	26,777	25,560

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	11,641	13,592
売上原価	8,338	9,515
売上総利益	3,302	4,077
販売費及び一般管理費	2,718	3,358
営業利益	584	718
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	9	83
為替差益	75	361
雑収入	7	10
営業外収益合計	93	456
営業外費用		
支払手数料	3	3
雑損失	3	1
営業外費用合計	6	4
経常利益	671	1,170
特別損失		
固定資産除売却損	13	19
特別損失合計	13	19
税引前四半期純利益	658	1,150
法人税、住民税及び事業税	253	431
法人税等調整額	△1	△22
法人税等合計	252	408
四半期純利益	405	741

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	658	1,150
減価償却費	240	251
その他の償却額	0	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1	5
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△33	△19
退職給付引当金の増減額(△は減少)	29	19
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
受取利息及び受取配当金	△10	△84
支払手数料	3	3
為替差損益(△は益)	△3	△6
有形固定資産除売却損益(△は益)	13	19
売上債権の増減額(△は増加)	△266	△142
たな卸資産の増減額(△は増加)	△744	△1,406
その他の資産の増減額(△は増加)	19	90
仕入債務の増減額(△は減少)	△392	△1,411
その他の負債の増減額(△は減少)	△43	△34
小計	△531	△1,564
利息及び配当金の受取額	58	208
支払手数料の支払額	△2	△2
法人税等の支払額	△297	△408
営業活動によるキャッシュ・フロー	△772	△1,768
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△116	△184
無形固定資産の取得による支出	—	△0
有形固定資産の売却による収入	0	0
有形固定資産の除却による支出	△1	△4
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
貸付金の回収による収入	1	0
保険積立金の積立による支出	△20	△2
保険積立金の解約による収入	16	28
その他	△16	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△140	△163
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△469	△374
財務活動によるキャッシュ・フロー	△469	△375
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,381	△2,307
現金及び現金同等物の期首残高	7,912	6,203
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,530	3,895

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ごま油	食品ごま	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,374	2,265	11,639	1	11,641
計	9,374	2,265	11,639	1	11,641
セグメント利益	392	191	583	0	584

(注) 1. 「その他」の区分には、「仕入商品販売」を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	583
「その他」の区分の利益	0
四半期損益計算書の営業利益	584

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ごま油	食品ごま	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,196	2,389	13,585	6	13,592
計	11,196	2,389	13,585	6	13,592
セグメント利益	613	102	715	2	718

(注) 1. 「その他」の区分には、「仕入商品販売」を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	715
「その他」の区分の利益	2
四半期損益計算書の営業利益	718

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。